

「小さな勇気をもつ」

校長 石田 雄介

令和4年もあとわずかですが、子どもたちは学習を深めています。この秋は割と暖かな日々が続き、晴れている昼休みにはグラウンドで友達と元気よく遊ぶ子どもたちの姿が見られています。感染症の状況に注意を向けつつ、充実感が持てる学校生活を継続しています。子どもたちにはこの時期、コミュニケーション能力を高め、互いに相手の事を思いやる、心温かな関係をつくってほしいと願っています。

先日、児童会の企画委員会の子どもたちが主催してくれた「いじめ見逃しゼロスクール集会」で、今年も全ての学級でいじめを見逃さないための行動宣言をした子どもたち。真剣なまなざしで集会に参加した子どもたちに、私は次のような話をしました：

うれしいな。

全てのクラスでいじめをなくすために**真剣**に話し合いをしてくれたのですね。

そして、**南小からいじめを無くそうと、行動宣言**してくれたのでしょう。

南小っ子の皆さんの気持ちがうれしいです。

また、今日の集会を準備・運営してくれた企画委員会の皆さん、

本当にありがとう。皆さんが用意してくれた動画があったから、クラスでの話し合いが進み、今日の行動宣言につながったのです。すばらしい集会でした。

今日発表して終わりではなく、今日を行動宣言した**スタートの日**としましょう。

これからの毎日の過ごし方が大切ですね。

行動をスタートする日に当たり、皆さんに合言葉を贈ります。

昨年の合言葉は、「やさしいK」でした。

南小っ子のめあてAKRのK、言葉遣い、ふわふわ言葉でしたね。

今年はこれに加えて、**合言葉「小さい勇気」を贈ります**。

悪口や無視などのいじめを見つけた時に注意するには、勇気がいります。

仲が良い友達なら、なおさらいいにくいですよ。…本当に注意できますか？

そこで、「小さな勇気」です。一人一人が小さな勇気をもつこと。

そして、「**ねえ、やめよう**」という声を、勇気を出してかけていきましょう。

頭では分かっているけど、その場で実際に人として正しい行動ができるかどうかは難しい時もあります。私たちは、行動宣言をした南小っ子一人一人を見守っていきます。

また、今年も「人権週間」では、各学級で同和教育、人権教育にかかわる授業を行います。人が人をいじめたり差別したりすることの愚かさ、人が人を支えることの大切さや素晴らしさについて考え合います。

いじめや差別を見逃さない、許さない子どもへ。思いやりのある温かな行動ができる子どもへ。子どもの小さな勇気や小さな頑張りを認め、励まして参ります。